

30 気象警報発表時の対応について

気象警報発表時には、自宅待機、学校待機など、安全確保を最優先した対応をとる

【気象警報】暴風警報 大雨警報 洪水警報 大雪警報 暴風雪警報 等

【警報発表地域】瑞浪市及び各自の居住地 ※通学経路に警報発表地域がある場合も含む。

【警報の発表情報の収集手段】(1) テレビ, ラジオ, 携帯電話, インターネット等から得る。

(2) 居住する自治体の防災無線、広報車等から得る。

【1】登校前（午前6時）に警報が発表されていた場合

瑞浪市及び、居住地の警報の解除があるまで自宅で待機する。解除後は【5】へ。

【2】登校途中に警報が発表された場合

(1) 帰宅と登校で安全な行動を選択する。

(2) 状況によっては公共施設への避難など安全な行動をとる。

*学校が配信した「安否確認メール」に対して、必ず返答をする。

【3】登校後に警報が発表された場合

(1) 学校の指示があるまで、原則として校内で待機する。

(2) 状況によっては保護者の迎えで帰宅。

*学校が配信した「安否確認メール」に対して、必ず返答をする。

【4】警報が発表されていなくても危険が大きいと判断する(される)場合

(1) 警報が発表されていなくても、バスや電車が止まった場合や、危険が大きいと考えられる場合は、安全な場所に避難したり、自宅で待機したりする。

*必ず学校に連絡する。

(2) 登校時に、上記の気象状況において、警報が出ていない場合でも、学校は授業を打ち切り、帰宅指示や学校待機等の対応を行うことがある。

【5】瑞浪市及び、自身の居住地の警報が解除された場合

(1) 午前11時以前に警報が解除 → 原則として瑞浪市解除2時間後から授業開始。

※ただし、気象状況や被害状況等から、学校が危険と判断した場合は、授業中止（休校）の連絡を、緊急メール配信で連絡する。

① バスや電車の運行状況、通学経路の安全性等を確認したうえで登校する。

② バスや電車の運休や危険が大きいと考えられる場合は、自宅で待機する。

*必ず学校に連絡する。

(2) 午前11時以降に警報が解除 → 当日の授業は中止。

【6】その他

土日等における部活動や模試、学校行事等の活動についても上記と同じ対応とする。

【大切なこと】

- ・自分の命は自分で守る。
- ・危険箇所には近づかない。
- ・自分の通学経路の危険箇所を確認しておく。
- ・緊急時の家族との連絡方法を確認しておく。